

皇居



沿革

皇居は、江戸時代に徳川歴代将軍が居城としていた所である。明治維新の後、明治天皇は、千数十年にわたって天皇がお住まいになっていた京都からお移りになった。以来、ここに天皇がお住まいになり、宮殿では諸行事が行われてきた。昭和20年(1945年)に焼失した明治宮殿に代り、昭和43年(1968年)に現在の宮殿が完成した。

皇居の面積は約115万平方メートルで、濠で囲まれており、周囲に8つの門がある。

このパンフレットは、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



皇居一般参観（無料）

参観は、事前受付及び当日受付による実施

- ・原則として午前、午後の各1回
- ・日曜日、月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日（ただし、当該休日が土曜日である場合を除く。）は休止
- ❖ 問い合わせ先（火～土）午前8時45分から正午、午後1時から午後5時
03-5223-8071 宮内庁管理部管理課参観係
- ❖ <http://sankan.kunaicho.go.jp>

皇居東御苑（本丸・二の丸）（無料）

- [公開時間] [3月1日から4月14日] 午前9時から午後4時30分（入園は4時まで）
[4月15日から8月末日] 午前9時から午後5時（入園は4時30分まで）
[9月1日から10月末日] 午前9時から午後4時30分（入園は4時まで）
[11月1日から2月末日] 午前9時から午後4時（入園は3時30分まで）
- [休園日]・月曜日及び金曜日〔ただし、天皇誕生日以外の「国民の祝日等の休日」は公開する。なお、月曜日が休日で公開する場合は、火曜日（休日を除く）を休園する。〕
 - ・12月28日から翌年1月3日
 - ・行事の実施等で支障のある日
- [出入門] 大手門・平川門・北桔橋門きたはししもん
- ❖ 問い合わせ先（火～木） 03-3213-1111(代表) 内線 3621
(土・日・祝日) 03-3213-2050
- ※ 原則として水・土曜日の午前・午後にガイド案内が行われている。
問い合わせ先（公財）菊葉文化協会 03-5222-0015

三の丸尚蔵館（無料）

- [開館時間] [3月1日から4月14日] 午前9時から午後4時15分（入館は4時まで）
[4月15日から8月末日] 午前9時から午後4時45分（入館は4時30分まで）
[9月1日から10月末日] 午前9時から午後4時15分（入館は4時まで）
[11月1日から2月末日] 午前9時から午後3時45分（入館は3時30分まで）
- [休館日] 及び [出入門] については、皇居東御苑と同様。
(ただし、展示のための準備期間は閉館する。)
- ❖ 問い合わせ先（月～金） 03-3213-1111(代表) 内線 3602
(土・日・祝日) 03-3213-1177

秋季雅楽演奏会（要手続・無料）

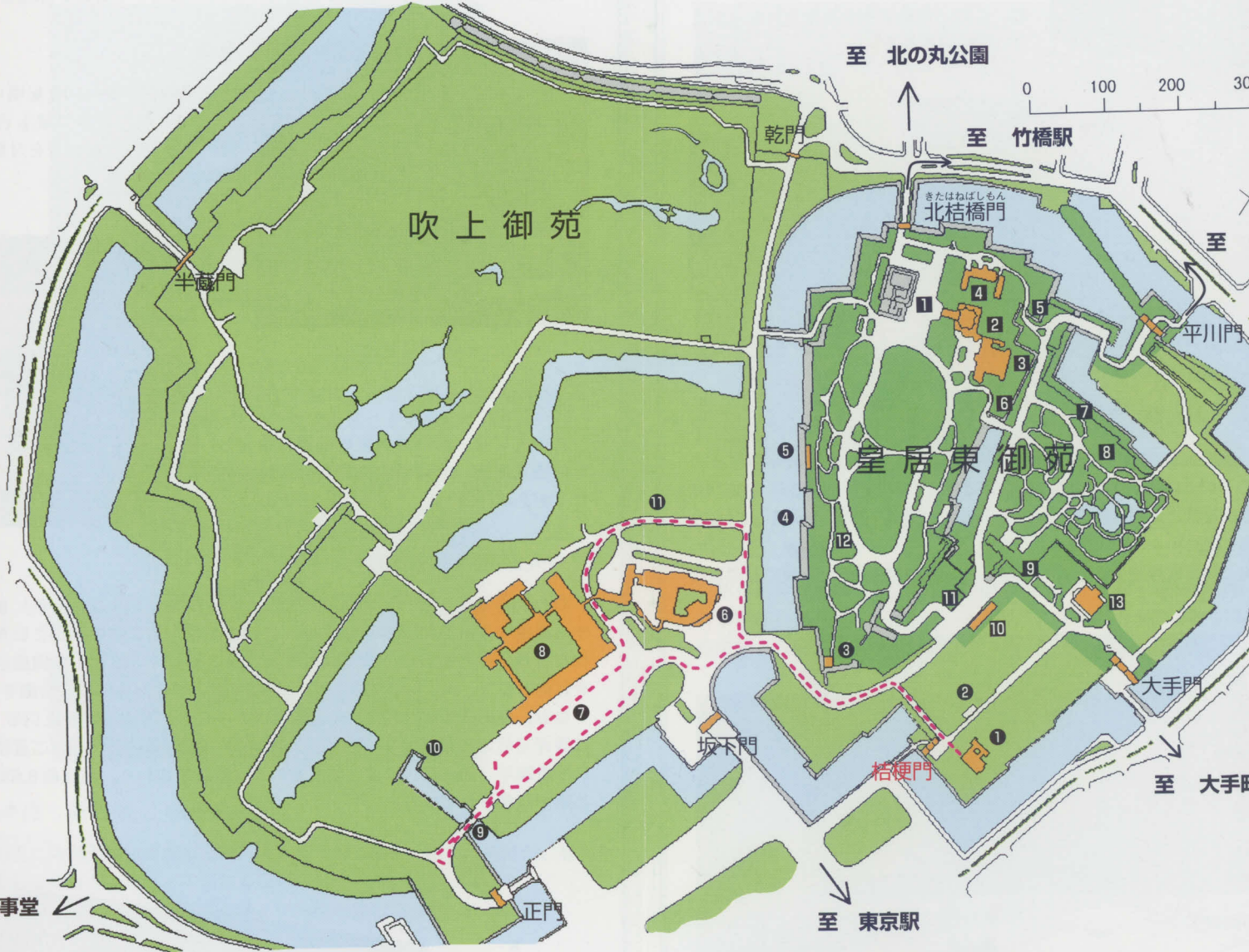
- ・往復はがきでの申し込み。1人1枚限りで団体または1枚で2名以上連記した場合は無効となる。
- ・申込者多数の場合は抽選となる。
- ❖ 問い合わせ先 03-3213-1111(代表) 内線 3416 宮内庁式部職楽部

発行 公益財団法人 菊葉文化協会
写真・資料提供 宮内庁



皇居案内図

(.....一般参観コース) 参観所要時間は約1時間15分



1 一般参観コースから見える建物等

- ① 窓明館 (休所)
- ② 旧枢密院庁舎
- ③ 富士見櫓
- ④ 蓮池濠
- ⑤ 富士見多間
- ⑥ 宮内庁庁舎
- ⑦ 宮殿東庭
- ⑧ 宮殿
- ⑨ 正門鉄橋 (二重橋)
- ⑩ 伏見櫓
- ⑪ 山下通り

2 皇居東御苑内にある建物等

- ① 天守台
- ② 桃華楽堂
- ③ 楽部庁舎
- ④ 書陵部庁舎
- ⑤ 梅林坂
- ⑥ 汐見坂
- ⑦ 都道府県の木
- ⑧ 諏訪の茶屋
- ⑨ 同心番所
- ⑩ 百人番所
- ⑪ 大番所
- ⑫ 松の大廊下跡
- ⑬ 三の丸尚蔵館

このパンフレットは、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



1 一般参観コースから見える主な建物等

富士見櫓 (地図⑤)

江戸城の遺構としては最も古いものに属する三重櫓で、万治2年(1659年)の再建である。石垣の高さが約15メートル、櫓の高さは約16メートルである。



宮内庁庁舎 (地図⑥)

昭和10年(1935年)に建築された建物で、戦後、昭和27年(1952年)10月から昭和44年(1969年)3月までの間、三階を仮宮殿として使用していた。



富士見多聞・蓮池濠 (地図⑤・④)

石垣の上に防御と装飾を兼ねて設けられた多聞は櫓の一種でもあるが、倉庫や武器庫として使用されるなど実用にも用いられていた。

高い石垣の下は蓮池濠で、夏季は多くの大輪の蓮の花が見られる。



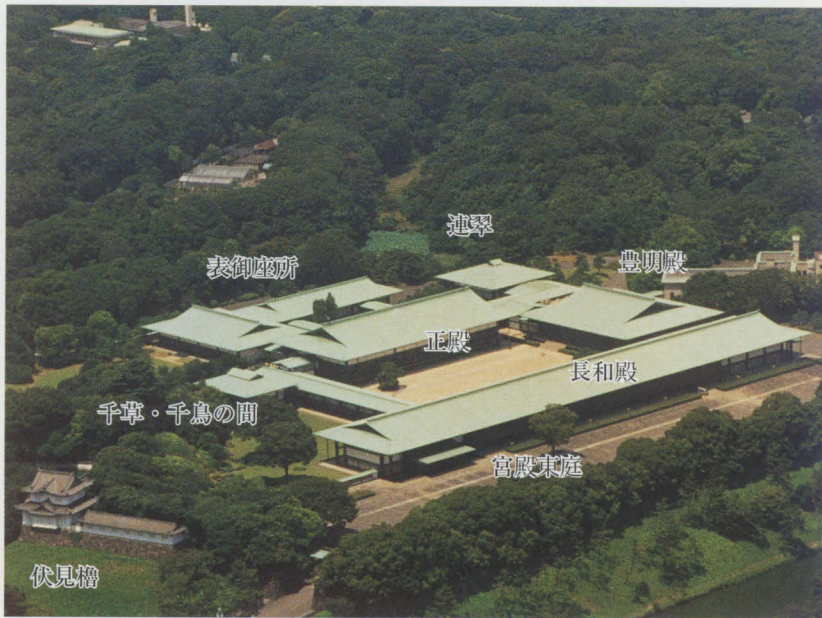
宮殿東庭（一般参賀）（地図⑦）

新年及び天皇誕生日の一般参賀は、この広場で行われる。長和殿に面し、中央バルコニーで両陛下始め皇族方が祝賀をお受けになり、天皇陛下のお言葉がある。



宮殿（地図⑧）

昭和43年(1968年)に完成した鉄骨鉄筋コンクリート造りの建物である。儀式・行事が行われる正殿、豊明殿、長和殿及び天皇陛下が御公務をお執りになる表御座所等から構成されている。





正門鉄橋(二重橋)・伏見櫓
(地図⑨・⑩)

通称「二重橋」と呼ばれ、国民から親しまれている正門鉄橋と三代将軍家光の頃、京都・伏見城から移築されたと伝えられている伏見櫓。

山下通り (地図⑪)



2 皇居東御苑内にある主な建物等

(以下一般参観コースには含まれておりません。)

天守台・本丸 (地図①)

江戸城の天守閣は、慶長12年(1607年)に完成した。当初、石垣の高さは約14メートルあり、その上に我が国最大の天守閣がそびえていたが、明暦3年(1657年)の大火で焼失した後は、再建されることなく、基礎石である石垣だけが残っている。現在の石垣の高さは約10メートルである。

本丸は二の丸と共に宮殿造営の際に整備され、皇居東御苑として一般に公開されている。



桃華楽堂 (地図②)

昭和41年(1966年)に香淳皇后の還暦を記念して建てられた音楽堂で、建物の屋根は「テッセン」の花を模し、壁は華やかな陶片とタイルで彩られている。



楽部・書陵部 (地図 3・4)

楽部は、雅楽の保存、演奏・演舞、宮殿で演奏される洋楽も担当している。楽部職員が演奏する雅楽は国の重要無形文化財に指定されている。

書陵部は、皇室関係の貴重な図書等や全国に点在する陵墓を管理している。



雅楽

平安時代中期(10世紀頃)に今日の形に完成した日本の最も古い古典音楽。毎年秋に一般の方を対象に公開演奏会が開催されている。



二の丸

二の丸には、江戸城当時の庭園に復元した回遊式庭園、武蔵野の面影を持つ雑木林などがある。

三の丸尚蔵館 (地図13)

昭和から平成へと時代が移るのにもない、平成元年(1989年)6月に皇室から美術・工芸品類6,000点余が国へ寄贈された。それを機に、これら美術品を保存管理するとともに、調査、研究を行い、併せて一般にも公開展示することを目的として、平成4年(1992年)に建設され、翌年から一般に公開されている。

なお、平成8年(1996年)に故秩父宮妃からのご遺贈品、平成13年(2001年)に香淳皇后のご遺品、平成17年(2005年)に故高松宮妃からのご遺贈品、さらに平成26年(2014年)には三笠宮家のご寄贈品が加わり、現在約9,800点の美術品類が収蔵されている。

